



若竹だより

275



【巻頭言】

児童心理治療施設

—新しい器に新しい手法を—

園長 野田大燈

謹みまして平成 29 年初春のお慶びを申し上げます。

学園生・職員の長年の夢だった若竹学園増改築がいよいよ始まろうとしています。

平成 6 年 3 月、情緒障害児短期治療施設として全国 15 番目の開設でした。(現在約 50ヶ所)

当時は四国・九州・沖縄で最初の情緒障害児短期治療施設で、対象児童は軽度の真犯傾向不登校生が多く、よくトラブルも起きていましたが和気藹藹としたものでした。

無人島に園生と職員全員で 3 泊 4 日のサバイバル訓練をしたこともありました。

その折の子供たちの伸び伸びとした表情と海岸で小魚を手製の釣り竿で釣り上げた時の歓声や、山林に立ち入って山菜を両手で持ち帰って得意げな表情は忘れることが出来ません。

園生は環境に依って変化すると云う事を身を以て経験した次第です。

園生の多くはどちらかと言うと不自然な生活を余儀なくされて来た傾向がありますので、この瀬戸内海国立公園「五色台」の大自然の中で「自然」を取り戻すことを優先課題として「体力・気力・思いやり」を育てていきたいと思っています。

また、3 年前より継続しています「子どもおもてなし處」はとても評判がよくて「四国遍路休憩所ナンバーワン」に選定されました。

それは休憩と宿泊のための建物の評価だけでは

なく、若竹学園生のお接待が高く評価されたものと思っています。

昨年末には女性専用無料宿泊所も完成して多くの方々が参列しての開所式も無事に終わりました。

参列して感激された方が、知人で学習塾を運営されている方に話したところ「外人講師をボランティアで派遣するので子供達に遍路通訳の為の勉強をサポートします」と言ってくれました。

自信を持てなかった子ども達が外人遍路さんに片言の英語でお接待することで外人コンプレックスを克服して欲しいと思っています。

また、この経験を踏まえて将来学園生が海外に羽ばたいて欲しいと思います。

若竹学園は今まで「情緒障害児短期治療施設」と呼ばれていましたが、平成 29 年度より「児童心理治療施設」と名称が変わります。

その中身を変えて行くのは心理担当の職員を中心とした施設全体ですが、私達の治療基本は「環境総合療法」ですので、医療・生活・教育が一丸となった体制と、大自然の持つ「癒し」の力を最大限に引き出さねばなりません。

新たに増築と旧館が改築されるのを機会に「児童心理治療施設」の名称に相応しい内容をもった若竹学園と変身したいものです。

そのためにも以前に倍して皆様方のび支援をお願い申し上げます次第です。

今年「鳥」年です。学園も、そして学園生、職員も入所児童のご家族の方も共に大きく飛躍の年でありたいと願っています。

—了—

太鼓演奏!

2016 年 12 月 18 日に和太鼓集団 鼓太朗 高松支店『満天』第 6 回公演が三木町文化交流プラザで行われました。優しく太鼓の練習を教えて下さる姿とは別で、迫力のある演奏にワンプクな園生もすっかり酔いしれ職員共に感動をたくさん頂きました。一生懸命打ち込むことがこんなに素敵な事なんだと思った事と思います。今後も楽しみながら和太鼓の良さを伝え、皆さまの前で演奏できたらと思います。

園生の感想



すごくおもしろいえんそうでした。ぼくは、もっとたいこのえんそうをみたいです。 小学男児

今回、満天さんの太鼓を聴いてとても感動しました。力強く太鼓を打つ姿は迫力があり、圧倒されました。特に左右の太鼓を同時に打つのがすごいと思い、印象に残っています。太鼓は、全員が息を合わせてやるからこそ心に響くものなんだと実感しました。太鼓は日本の伝統的な文化なので、これからも後世に伝えていくべきものだと思います。 中学3年 女児

クリスマス会



12 月 24 日にクリスマス会がありました。毎年行われる催し物を待ちわびていたようで、子ども達はレクリエーションやゲームを楽しんでいました。

高松イオンの方から寄付を頂きました!!

サンタさんが来てくれたことで驚いたり喜んでいる子がいました。



進化ジャンケン

ジャンケンで勝つ毎にソリからサンタへと進化していくゲームです。子ども達は早く進化できるようジャンケンをして、競い合っていました。



ダーツ

小さいので狙いが難しくても、当てられるように集中して頑張っていました。当たるとガッツポーズをしたり、嬉しそうに笑う子どももいました。



セリ

クリスマス会の最後にはセリを行いました。様々なお菓子が用意されていて、ゲームで手に入れたお金を使って、どのお菓子にしようか悩んでいる子どもやこれが欲しい!と自分の好きなお菓子に狙いを絞っている子がいました。



セリの後には、手に入れたお菓子を食ったり、ジュースを飲んでお腹いっぱいになり、満足した様子で、クリスマス会を終える事ができました。

1 月青峰・若竹学級だより

12 月に入り、冷え込む日が多くなってきましたが、子どもたちは元気に若竹学園で過ごしています。中学 3 年生は進路について、本人・学園・学校・保護者で話し合い決めていきました。原籍校の先生方には何かとご迷惑をおかけいたしました、これからもよろしくお願ひします。

進路学習

中学 3 年生が、高校のパンフレットを休み時間に見ていると、1・2 年生も進学に対する興



味が湧いてきたようで、教員に対して進路のことを質問する生徒も出てきました。

そこで、中学生を対象に中学卒業後、どのような進路があるか、仕事に関する基本的な事柄をパワーポイントを利用して授業を行いました。働き方の違いによる賃金の格差や高校でどのような勉強ができるかなど、進路について各自発見があったようです。

スポーツチャンバラ



毎週火曜日の午後に保健体育の授業の一環として、スポーツチャンバラを実施しています。児童生徒を中学

2・3 年生の男子、中学 1 年生・小学生の男子、小中学生女子の 3 グループに分け、月に一回ずつ汗を流しています。楽しみながら格闘技に親しんでいます、「礼に始まり礼に終わる」「相手がいないと練習や試合ができない」など、人間関係を学び、人格を形成していく一つの手立てとして有効だと感じています。スポーツチャンバラをしていないグループの児童生徒は、卓球や野球、ウォーキングなど希望のスポーツを選択して行っています。

クリスマスパンケーキ作り

12 月 14 日に 1 階ホールで調理実習を行いました。今



回はパンケーキにクリスマスの飾りづけをして、みんなで楽しく試食しました。



クリスマスケーキ作り!



12 月 25 日に学園で 6 班に分かれクリスマスケーキを作りました。事前に女子が果物を切って、泡立て器で生クリームを作り、職員が用意したスポンジケーキにデコレーションしました。



子ども達は、思い思いの飾りつけをしてケーキ作りを楽しんでいました。



完成すると嬉しそうな良い笑顔をして「美味しいね」と食べていました。

2017 年の目標

- ☆めざせ高校!! 中学 3 年男児
- ☆勉強を頑張る。特に英語。 中学 3 年男児
- ☆私がんばることは、苦手な嫌いな算数の勉強です。空いた時間に今まで習った勉強を復習したり分からない所を先生に聞いたり、分かるまで勉強するなどしたいです。 小学生女児
- ☆今年、わたしが、がんばりたいことは、こくごの勉強です。わたしは、むずかしいかんじをよくひらがなにしてくせがあるので今年は、そこをがんばりたいです。 小学生女児

~御寄附ありがとうございました~

- 佐藤 秀樹 様 りんご沢山
- 平田 行久 様 そば沢山
- 四国新聞社 様 デジタルカメラ・SD カード
- イオン高松店様 ゲーム・CD ラジカセ

12 月行事

- 14 日 買物学習
- 18 日 太鼓鑑賞
- 24 日 クリスマス会
- 25 日 クリスマスケーキ作り
- 28 日 餅つき
- 29 日 年末大掃除

在籍人数 平成 28 年 12 月 25 日現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男 子	小学生	3	2	5
	中学生	8	5	13
	その他	0	0	0
	計	11	7	18
女 子	小学生	2	0	2
	中学生	5	2	7
	その他	0	0	0
	計	7	2	9
合計		18	9	27

編集後記

冷たい北風に負けずに鼻を赤くしながらも外で元気に遊んでいる子ども達の姿にたくましさを感じます。今年も多くの行事に参加してたくさんの経験を積んでもらえたらと思います。 児童指導員 太田 美千代

第 275 発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192
 TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160
 ホームページ <http://4on.or.jp/>
 Eメール wakatake@4on.or.jp
 編集兼発行者 若竹学園 編集委員
 発行責任者 野田 大燈